

旅立ちの春

校長 畠山 真

梅の花が満開となり、桜月とも呼ばれる弥生三月を迎えます。

先日、新聞を見ていましたら100段階プロジェクトの記事が載っていました。地域の方々が、50年前に造られた普通の階段を五色の塗料でモザイク風にきれいにし、100段ある階段を上りたいという気持ちになってもらおうと取り組んだということです。美小の子どもたちも地域の方と一緒に色塗りに参加し色鮮やかな階段が出来上がりました。ベンチや案内表示板、照明なども設けられ、校門の横には美小の歴史とテーマの書かれたプレートも埋め込まれ、100段階と共に歩んできた美小の50年の歩みがよく分かります。

さて、この3月で今年度が終了します。平成30年度という名称も最後となります。本校の50周年と平成が終わるというのも何かの縁を感じます。この一年間を振り返ってみると様々な行事が思い出されます。一つ一つがあっという間に過ぎ去りました。運動会、50周年記念式典、全校遠足、スマイルコンサート、そして20日には第50回目の卒業証書授与式が行われます。美しが丘小学校では、この50年間に5600名を超える人たちが卒業していきました。今の6年生も小学校の6年間を終えて卒業していきます。50周年を記念して、新しくなった体育館で卒業式を行い本校から巣立っていきます。私も新装なった体育館で一人ひとりに卒業証書を渡すのが今から楽しみです。

今回50周年を記念して私に何かできるかなと考え、全校児童418名と面談し、一言字を書くということを10月から始め、2月で終わりました。一人ひとりと面談をしていて思ったことは、子どもたちは自分のことをしっかりと見つめているということです。書いた字には、子どもたちの思いが込められているのがよく分かりました。美小への愛着や友達、家族、名前の由来、自分の未来に向かっての希望や夢などしっかりと考えていると思いました。

6年生は、小学校を卒業して新たな中学校へと進みます。そして、1年生から5年生までは進級して、次の新しい学年への旅立ちが待っています。この三月は、人それぞれ一年間の振り返りと次の学年への思いが交錯していく時でもあります。ぜひ、もう一度自分を見つめ直し、新たな一歩へと繋げてもらいたいと思います。

子どもたちには、「元気いっぱい 友だちいっぱい すすんで学ぼう 夢つくりろう」という学校教育目標を常に心の中に入れながら、来年度に向けて希望をもって楽しく学校生活をおくってほしいと思います。

地域の皆様、保護者の皆様には本校の教育活動にご尽力いただき、心よりお礼申し上げます。50周年を迎えた美小の歴史を顧みるとともに、これから70年、100年へ向けて、美小の新たな旅立ちを願っていきたいと思います。

一年間、ありがとうございました。